

当院が行う在宅療養支援病院としての 取り組み

済恵会 須藤病院

須藤 雄仁, 柳澤 肇, 泉 勝, 須藤 英仁



目的

当院の地域性及び特色をふまえ、
安中地域包括ケア会議(情熱ライン)について報告する

地域における中小病院が周辺の介護施設と
連携するうえで果たすべき役割について考察する

当院の地域性及び特色について



当院の地域性

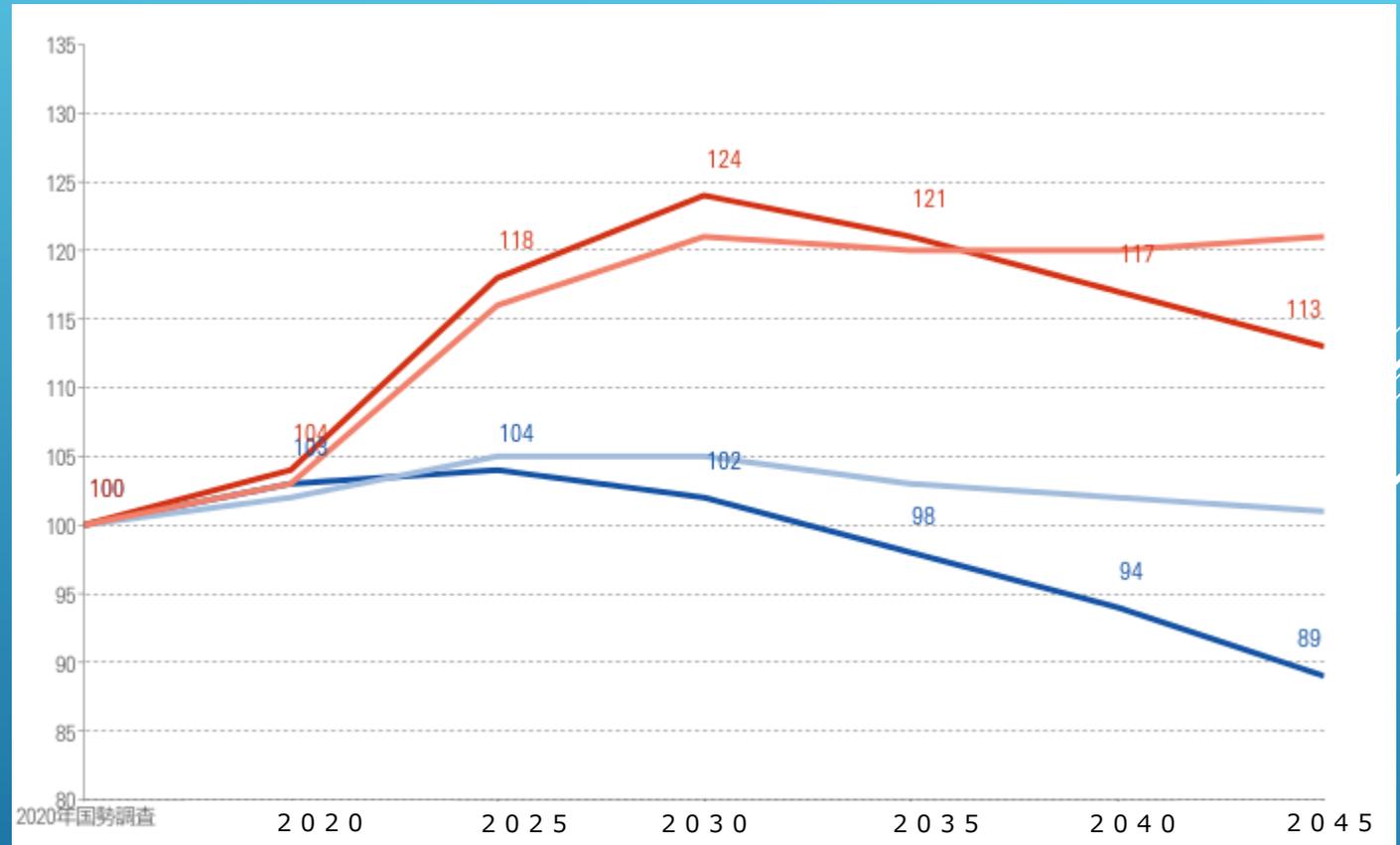
群馬県安中市(人口5,4168人)

高崎・安中二次医療圏

高齢化率36.2%(全国平均28.7%)



安中市の医療介護需要予測指数



当院の地域性

軽井沢町(長野県)

碓氷峠

妙義山

安中市

榛名山

下仁田町

碓氷川

九十九川

榛名町(高崎市)

公立富岡
総合病院

重病者の
治療

病院 (5)
診療所 (27)
介護事業所 (150)

富岡市

当院

重病者の
治療

高崎総合医療
センター

高崎市



当院の概要

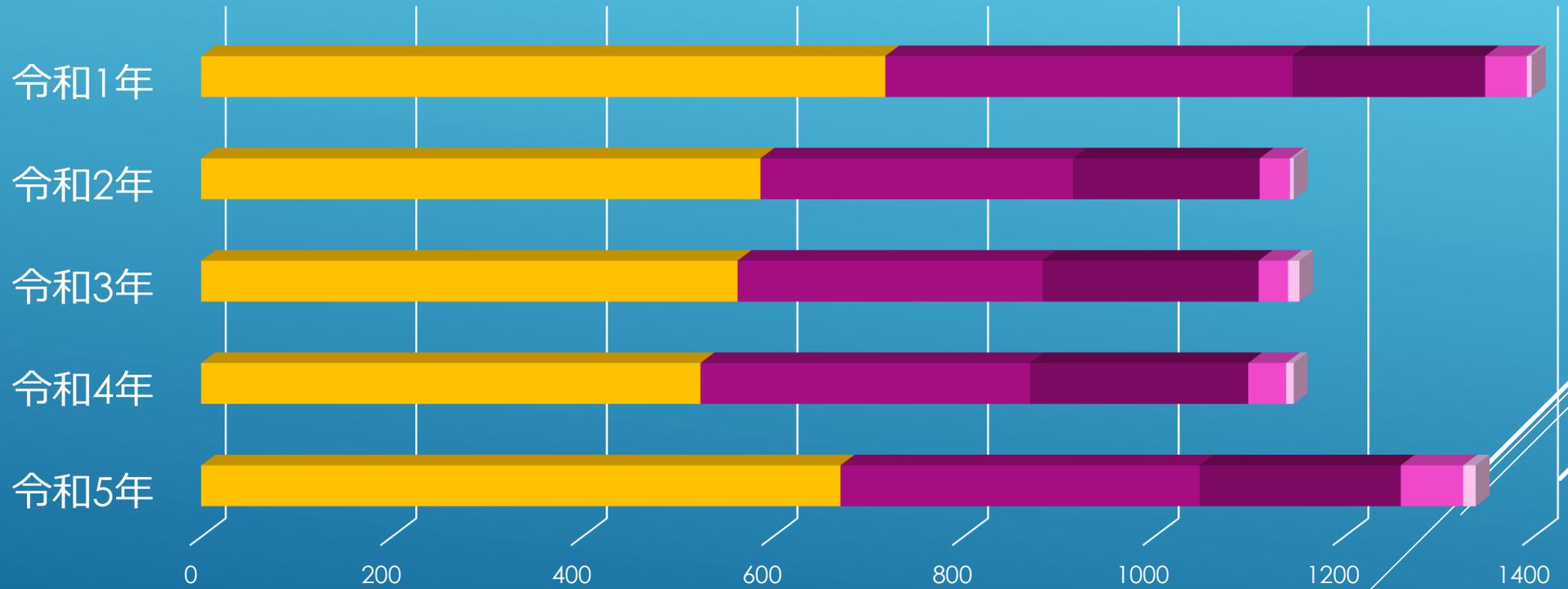


急性期48床(7:1看護)、回復期41床、療養31床
外来受診者数 300人/日、病床稼働率93.4%、平均在院日数12.0日
全麻手術件数 約300例 (消化器外科、整形外科、乳腺外科..)



当院の概要

安中市内医療機関への救急搬送数



須藤病院への搬送

碓氷病院、本多病院、
正田病院、松井田病院 等



当院の介護・在宅医療への取り組み

高齢者が多く、介護、在宅医療のニーズが高い地域性
開業以来、施設や自宅への**往診**という形で地域の在宅医療を守ってきた。



平成28年より**強化型在宅支援病院(連携型)**を取得

| | 群馬県 | 高崎安中 医療圏 | 安中市 |
|-----------------|-----|-------------|---|
| 在宅療養支援診療所(強化型含) | 260 | 63 | 4 いわい中央クリニック、みやぐち医院 櫻井内科医院、武井内科循環器科 |
| 強化型在宅療養支援病院 | 12 | 3 | 1 須藤病院 |
| 在宅療養支援病院 | 16 | 9 | 2 松井田病院、正田病院 |

強化型在宅療養支援病院(連携型)を取得するのに必要な条件

- ①許可病床数が200床未満の病院であること。（当院は120床）
- ②他の連携医療機関と併せて、在宅医療を担当する医師が3名以上配置されていること。
- ③24時間連絡を受ける担当者（部門でもよい）があらかじめ指定してあること。
また、患者・家族・他の連携医療機関に対して緊急時の連絡先等を一元化し文書により提供しておくこと。
- ④患家の求めに応じて他の医療機関と協力して24時間往診が可能な体制を確保し、往診担当医の氏名・担当日等を文書で提供すること。また、訪問看護の担当者とも診療情報が共有されていること。
- ⑤往診を担当する医師は当直体制を担う医師とは別の者であること。（病院に常駐しなくともよい）
- ⑥訪問看護は24時間訪問看護が可能な体制を確保しておくこと。
また、患家に訪問看護の担当者の氏名・担当日等を文書により患家に提供しておくこと。
- ⑦在宅での療養を行っている患者が入院できる病床を常に確保しておくこと。

- ⑧訪問看護ステーションと連携をとる場合には、あらかじめ患家の同意を得て、患者の病状、治療計画、直近の診療内容等緊急の対応に必要な診療情報を訪問看護ステーションに文書で随時提供しておくこと。
- ⑨当該在宅支援連携体制を構築する保険医療機関間において、診療を行う患者の診療情報の共有を図るため、**月1回以上の定期的なカンファレンス**を実施すること。
- ⑩患者に関する診療記録管理を行うにつき必要な体制が整備されていること。
- ⑪当該地域において他の保健医療サービス及び福祉サービスの担当者と連携していること。
- ⑫年に1回、様式11の3と様式11の4を用いて地方厚生局長に実績報告をすること。
- ⑬厚生労働省の「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容に踏まえ、適切な意思決定支援に係る指針を作成すること。
- ⑭他の医療機関と併せて**過去1年間の緊急往診の実績**を10件以上、かつ当病院において4件以上有すこと。
(ここでいう緊急往診は緊急・夜間・深夜・休日に行う往診のこと。)
また、**看取り**は他の医療機関と併せて4件以上、かつ当院において2件以上有すこと。

強化型在宅支援病院の維持に必要な
定期カンファレンスに
周辺介護施設、事業所への参加を依頼、
安中地域包括ケア会議を発足、情熱ラインと命名した



安中地域包括ケア会議(情熱ライン)につ いて



安中地域包括ケア会議(情熱ライン)のイメージ

介護老人福祉施設

有料老人ホーム

グループホーム

介護老人保健施設

ナーシングホーム

強化型維持のための

皆の情熱をつなぐラインを作る！

デイサービス

須藤病院 + 4協力医療機関

訪問看護ステーション

他の市内医療機関

訪問介護ステーション

安中市医療介護サービス

保健所

地域包括ケア会議(情熱ライン)参加事業者

須藤病院の全職種（医師・看護師・薬剤師・検査技師・放射線技師・医療事務等）

【市内病院・診療所の医師】

本多病院・本多真先生、いわい中央クリニック・外處真道先生、武井内科循環器科・武井弘司先生、みやぐち医院・宮口信吾先生、櫻井内科医院・櫻井炳一郎先生、さるや内科医院・猿谷忠弘先生、もてき内科医院・茂木陽一先生、永山医院・永山雅之先生、田口医院・田口晴也先生、アミヤ医院・真下正美先生

【薬局】

プラス薬局・はぎわら調剤薬局・そうごう薬局安中店

【介護事業者等】

安中市介護保険福祉事務所 安中市地域包括支援センター 松井田町在宅介護支援センター 社協安中松井田介護事業センター
介護老人保健施設うららく 特別養護老人ホームのどの荘 特別養護老人ホームあかね荘 特別養護老人ホームしづの想い
介護付有料老人ホームメディス安中 介護付き有料老人ホーム松華 介護付き有料老人ホームメディス安中
ナーシングホームあい誉 小規模多機能の家 吉ヶ谷 住宅型有料老人ホームケアホームえにし 住宅型有料老人ホームやまと
住宅型有料老人ホームさちえーる 住宅型有料老人ホーム我が家安中 グループホームなないろ グループホームけやき
サービス付き高齢者向け住宅ふるさとホーム安中 小規多機能ホームゆうゆう 小規模多機能ホームくわのみ
訪問看護ステーション クローバー高崎 訪問看護ステーションー心
居宅介護支援事業所せせらぎ 居宅介護支援事業所ふれ愛 居宅介護支援事業所ふじ

地域包括ケア会議

毎月第1月曜日(13:45-14:30)

コロナによりWEB開催 現在は3回に1回対面での開催

- ① 紹介患者の情報共有(介護施設含む)、フィードバック
連携医療機関での訪問診療実績報告
- ② 各施設で持つ情報の周知、共有
参加介護施設、事業所のベッド及び
サービスの空き情報、新規事業の紹介等
- ③ 毎回の会議には1～2つの議題を設定し、
参加施設で意見を出し合う



平成26年～ **109回開催**

当院専門医や専門スタッフ(看護師、PT、ST、管理栄養士、事務職等)によるレクチャー
各種疾患(誤嚥性肺炎、心不全、糖尿病、NST、癌緩和…) 検査や治療のアップデート、
廃用予防、嚥下障害、褥瘡管理、栄養指導



済恵会 須藤病院

地域包括ケア会議 毎月第1月曜日(13:45-14:30)

2019年 レジオネラ肺炎

台風19号の振り返り 施設の災害対応

2020年～ (Web開催に変更)

コロナ情報、 ワクチン接種、
施設クラスター対応

2023年 ACPの問題

医療機関や施設でのセキュリ ティ
ハラスメントの問題
マダニ咬症

2024年 人食いバクテリア



平成26年～ 109回開催

⇒ 地域で一番問題になっている話題をタイムリーに話し合い、
意見を出し合う。



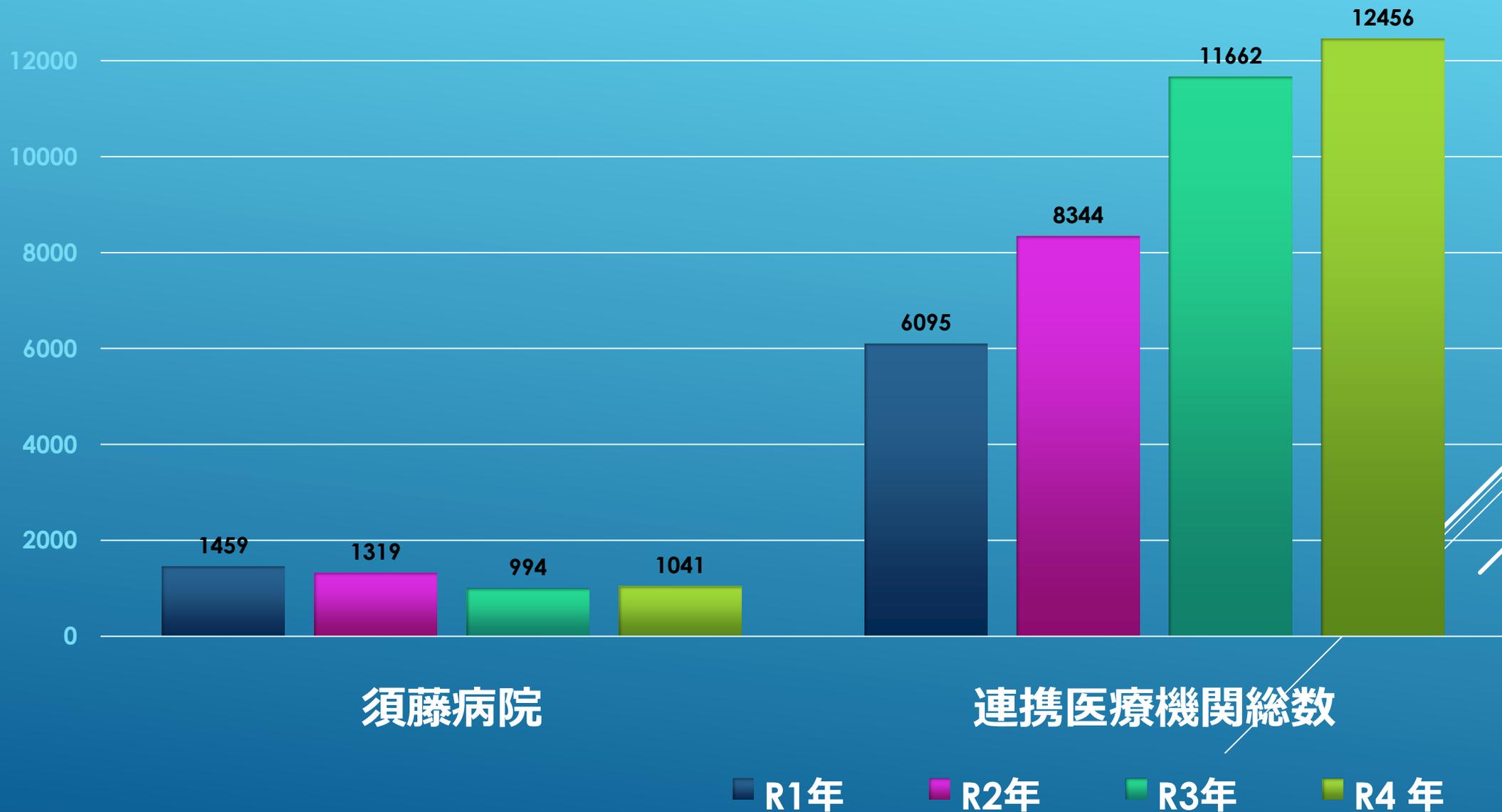
| 回 | 日付 | 講師 | 内容 |
|-----|-------------------|------------------|---------------------------|
| 101 | 2024.4.8 | 当院医師 | JMAT災害派遣報告 |
| 102 | 2024.5.7 | 群馬大学教授 当院看護部長 | 病院における医療安全 |
| 103 | 2024.6.3 | 当院事務 | 令和6年度 診療介護報酬 改定への対応 |
| 104 | 2024.7.1 | さちえん社長 | コロナ対応への介護職員 アンケート結果 |
| 105 | 2024.8.5 | 当院医師 | 若年者の肺炎 |
| 106 | 2024.9.2 | 当院MSW | スムーズな訪問診療依頼 方法を考える |
| 107 | 2024.10.7 | 高崎総合医療セ ンター医師 | 高崎安中医療圏における 心不全 病病連携パス |
| 108 | 2024.11.11 | 当院病棟師長 | ACPについて ピースを集めよう |
| 109 | 2024.12.2 | 当院医師 | 地域で支える認知症 |
| 110 | 2025.1.14 (予定) | 安中保健福祉 事務所長 | マイナ保険証普及促進に むけて |



お互いに顔の見える医療を！
施設間での紹介を、よりスムーズかつシンプルに。。

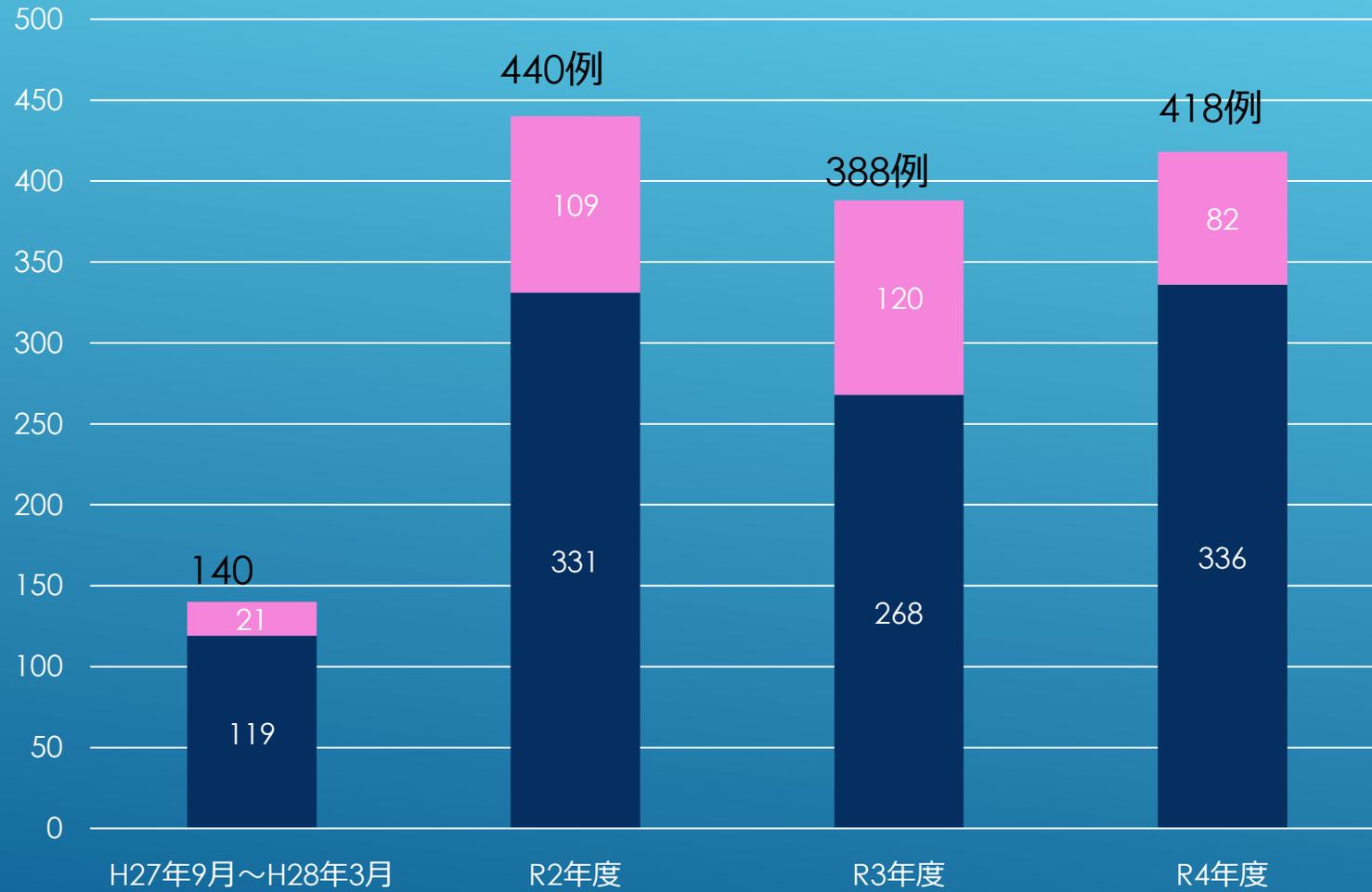
当院連携機関による介護施設・在宅への訪問診療件数

(在宅支援連携体制に係る報告書とりまとめより)

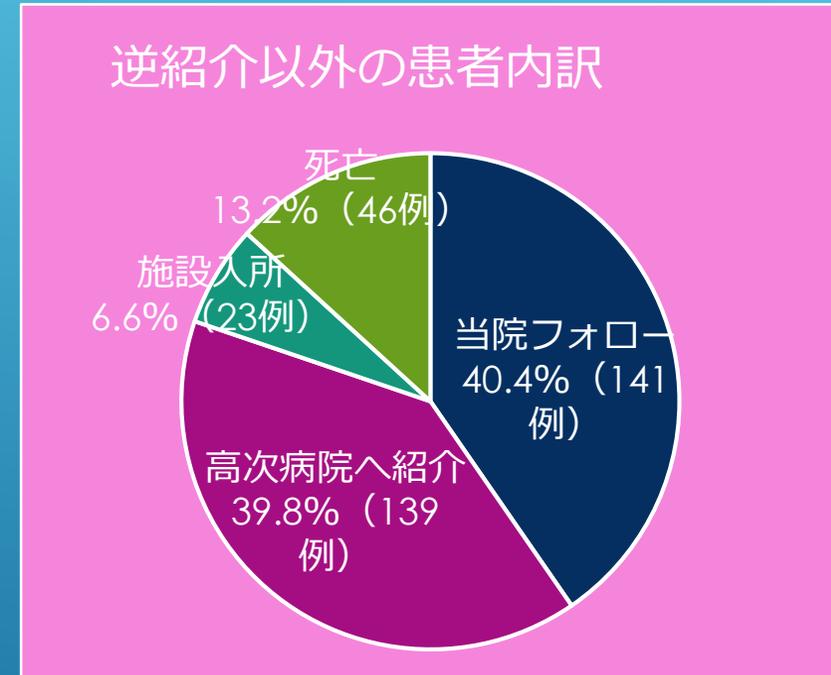


連携診療所からの紹介数と逆紹介数

紹介数



■ 逆紹介件数 ■ 逆紹介以外



強化型在宅療養支援診療所・病院 **情熱ライン**
第100回カンファレンス 地域包括ケア会議

日時：2024年3月4日（月）18:45～（受付開始18:15から）

場所：ホテルメトロポリタン高崎 6階

第1部

18:45～ 第100回カンファレンス 地域包括ケア会議 （第1部 参加費 無料）

19:00～ 特別講演

地域と医療のコンヴィヴィアル～「屋根のない総合病院」板倉病院の挑戦～
演者：医療法人弘仁会 理事長 板倉病院 院長 梶原崇弘 先生

第2部

20:00～ 懇親会 （第2部 参加費1名 2,000円）

今後も皆様と共に より良い地域包括ケアの取り組みを目指し 有益な情報を学んでいただけたら幸いです
～ 皆様のご参加を心よりお待ちしております お気軽にご参加くださいませ ～

主催：医療法人済恵会 須藤病院
後援：群馬県医師会 安中市医師会

※お問い合わせ 申し込み先 須藤病院 地域連携室 TEL027-382-3131



「究極の地域医療」を目指す
中小病院の挑戦

病院が地域を デザインする

医療法人弘仁会 理事長
板倉病院 院長
梶原崇弘
TAKAHIRO KAJIWARA

医療機関 地域住民 職員

すべてを幸せにする
中小病院が
やっていること

超高齢社会の日本で、病院に何ができるのか

板倉病院は、
病院らしくない
取り組みを
しているから
魅力的なのです。

日本病院会 会長 推薦
相澤孝夫氏

CROSSMEDIA PUBLISHING



参加人数 80名

特別講演：板倉病院 梶原 崇弘先生

安中市長、群馬県健康福祉部長、高崎安中保健所長
上毛新聞

安中地域の医療、介護連携について行政・民間関係なく、
膝を突き合わせて議論しあう貴重な場となった。

第5回 THE 5TH ANNUAL MEETING OF THE JAPANESE ASSOCIATION FOR HOME CARE MEDICINE 日本在宅医療連合学会大会

今ここに求められる在宅医療の創造 —— 緩和・難病そして薬・機器・人の融合

会期 2023年
6月24日(土)・25日(日)

会場 朱鷺メッセ

大会長

中島 孝 独立行政法人国立病院機構
新潟病院 院長

副大会長

井手口 直子 中山 優季

新潟県プログラム委員会

塚田 芳久 小柳 亮

シンポジウム13 新潟県プログラム委員会企画 病院における在宅医療

6月24日(土) 14:45~16:15 第4会場「中会議室201」(朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)2階)

座長 大平 徹郎 国立病院機構西新潟中央病院
座長 土谷 明男 東京都医師会/医療法人社団葛西中央病院

S13-1 中小病院がおこなう在宅医療の現状と課題

須藤 雄仁 済恵会 須藤病院

S13-2 病院が手がける訪問診療

上原 彰史 医療法人 恒仁会 新潟南病院

S13-3 都心中小病院における在宅医療

吉澤 明孝 要町病院・ホームケアクリニック

S13-4 地域包括ケアシステムの実現を目指した入退院支援連携の実際

乾 香 一般財団法人 魚沼市医療公社 魚沼市立 小出病院 看護部

病院トップマネジメントのための

病院経営 羅針盤

2024
1/1-15

特集1

新春特別企画 「初心を未来につなぐ想い」

特集2

病院長が主導する 病院経営マネジメント

- 病院向上のための経営戦略 / 経営者大学 / 足利大学病院 / 小松本 貴
- 病院の方向性を一貫させるための経営戦略 / 経営者大学 / 社会福祉法人聖徳福祉会 / 社会福祉法人聖徳福祉会 / 田中 隆利
- 全社的大院間の連携の強化 / 日本赤十字社認知症センター / 公益財団法人 / 佐藤 公治
- 病院がリードする地域医療 / 社会福祉法人聖徳福祉会 / 公益財団法人 / 佐藤 公治

インタビュー

医療法人嘉健会 思温病院（大阪府） 狭間研至 理事長・病院長 に聞く

● 地域からの信頼を築いた「ケア・ホスピタル型病院」の経営

産労総合研究所
経営 医療経営情報研究所

リレー
連載

新たな展開を迎えた在宅の方向性

中小病院が行う在宅医療の 課題解決に向けた取り組み

医療法人済恵会 須藤病院 理事長・院長 須藤雄仁

地域包括システムの構築に向けて在宅医療の推進が図られ、在宅訪問診療を受ける患者数は2016年度67万人、2021年度に約90万人と順調に増加しています（2021年社会医療診療行為別統計：厚生労働省）。しかし、実際に訪問診療を提供する医療機関は診療所が89%、病院が11%程度（2014年度医療施設調査：厚生労働省）と病院の占める割合は少なく、その理由として周辺医療機関（診療所）との関係や訪問にかかる自院の人員の問題等が挙げられます。これらの課題を踏まえ、当院で行っている在宅医療に対する3つの取り組み①地域包括ケア会議、②特定看護師の育成、③入院患者ケアのノウハウを在宅へ、について紹介します。

当院の紹介

医療法人済恵会須藤病院は、群馬県安中市（人口54,168人）にある一般48床（7対1看護）、回復期リハ41床、療養31床の計120床のケアミックス病院です。内科（消化器、循環器、糖尿病などの専門外来含む）、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、眼科等を標榜し、地域の二次救急病院として年間650台程度の救急車を受け入れています。

法人関連施設として介護老人保健施設、介護付有料老人ホーム、高齢者住宅、デイケア施設などを運営しています。

病院概要

- 名称 医療法人済恵会 須藤病院
- 〒 群馬県安中市安中3532-5
- 電話 027-382-3131
- 病床数 120床（うち、一般48床、療養31床、回復期リハ41床）
- H.P. <http://med.wind.ne.jp/sutoh-hp/>

安中市は群馬県西部、長野県との県境に位置し、3方向を山で囲まれています。唯一開けた東側の碓氷川に沿った下流には人口37万人の高崎市があります（図表1）。安中市内には5つの病院がありますが総合病院はなく、安中市は高崎市と2市で1つの医療圏を形成しています（高崎安中2次医療圏）。このため、特に救急や災害分野においては高崎市との関係が深く、病院間、診療所一病院間での患者さんの紹介や搬送が活発に行われています。



考察



考察

R6診療介護報酬をふまえた本会議のメリット
～病院の視点から～

今回の診療報酬改定により、急性期病棟の看護必要度が厳格化され、特定の治療を行わない患者の入院継続がさらに困難となり、**退院調整にはこれまで以上の迅速性**が求められるようになった。

周辺の介護施設と顔の見える関係を築き、施設のベッドやサービスの空き状況を把握することで、医療から介護への**円滑な受け渡し**が可能となる。

情熱ライン参加施設とそれ以外の施設で患者の入退院を比較した場合、地域の医療事情や治療方針を共有している前者の方が**圧倒的にスムーズ**である。
(あくまで実体験に基づくが)

考察

R6診療介護報酬をふまえた本会議のメリット
～介護施設の視点から～

介護施設には介護士や看護師が勤務しているものの、事業の規模や形態はさまざまであり、閉鎖的な傾向があるため、**最新の情報**を入手しにくい側面がある。

また、感染症対策や防災面でも脆弱な点が多く、医療機関や他の施設、事業所から介護の諸問題に対する**タイムリーな助言やノウハウ**を得ることができる。

考察

中小病院が行う介護との連携について

中小病院が行う介護施設との連携は、その病院が地域に果たす役割、
周辺医療機関との関係 **(地域性)**によって大きく異なり、
一つの回答は存在しない。

病院に求められる役割の一つに、周辺医療機関や介護施設、
事業者の連携を深め、患者を1施設のみ(点)ではなく
地域(面)で支えていく橋渡しとなることが挙げられる。

お互いに顔の見える医療を行い、施設同士の連携をスムーズ且つシンプル
に行うことは、在宅医療にとどまらない**Win-Win**の関係を構築でき、
持続可能性の面からも重要である。

ご清聴ありがとうございました



済恵会 須藤病院